

## 八十里越地点開発促進期成同盟会を開催

7月25、26日に只見町を会場として八十里越地点開発促進期成同盟会を開催し只見町長、三条市長ほか期成同盟会委員である両市町の議会議員が参加しました。

今回は朝日小学校の児童と交流を図るため、三条市の小学生約20名が只見町を訪れました。歓迎あいさつで目黒町長は「皆さんが成人した時には八十里越道路は開通します。皆さんが只見町と三条市のかげ橋になる事を期待します」と呼びかけました。小学生達はお互いの学校や地域の紹介を行い、そ



▲只見町について紹介する朝日小学校の子ども達

の後は朝日小学校でゲームなどをして交流を深めました。

期成同盟会委員らは25日は総会と関係機関からの事業説明を受け、26日は工事現場の視察を行いました。事業説明会の冒頭のあいさつで三条市長は「6月30日～11月9日までの間で運行する八十里越体感ツアーバスはすでに満席でキャンセル待ちが多く出ている状態です。八十里越道路には多くの皆さんが関心を持たれている」と話されました。町は八十里越道路の早期開通に向けて今後も様々な取組みを行なっていきます。



▲25日午後に行われた総会の様子

## 飯塚恒夫さんが三条市で講演

6月30日、新潟県三条市の諸橋轍次記念館で、町文化財調査委員長で会津史学会理事の飯塚恒夫さんが「六十里越を越えた河井継之助く只見における最後の十二日間」というテーマで講演されました。これは同記念館の企画展「八十里越を行くく峠を越えた人々」が開催されたのを機会に、その初日をかざって行われたものです。飯塚さんは、只見と越後の交流は、経済・産業・文化・婚姻などすべてにつながりが深いことをあげ、戊辰戦争では長岡藩を村民一丸となつて支援したことを講演し、定員を越える二四〇人の聴講者は熱心に聞き入りました。

諸橋轍次記念館は、『大漢和辞典』を編さんしたことで知られる諸橋轍次が、下田村（現三条市）の出身であることを記念してできた資料館です。今年は三条市から「八十里越体感バス」も運行されるなど、国道二八九号線八十里越開通にかける新潟県民の熱気が感じられます。



▲多くの聴衆の前で講演する飯塚恒夫さん

9月1日まで  
只見の巻物が国立博物館で展示



▲先祖伝来の鍛冶屋の巻物をもつ松井栄吉さん

只見町は、小笠原流巻物、番匠巻物、屋根葺き巻物など数多くの巻物があります。それは一二種類、六〇〇巻もあり、日本一の巻物王国といえます。いま、千葉県佐倉市にある国立歴史民族博物館で、只見の巻物が三点展示されています。一点は、梁取の松井栄吉家の鍛冶屋巻物で、7月からはじまった企画展「時代を作った技―中世の生産革命―」のなかで展示されています。ほかの二点は、蒲生・馬場崇さんの番匠巻物と新町・新国志摩夫家の屋根葺き巻物です。これは民俗展示室に置かれています。馬場家と新国家の巻物は、現物とまったく同じく作られたレプリカでの展示です。

松井家の巻物は本物で、9月1日まで見ることが出来ます。この博物館には、水没前の田子倉集落のジオラマ模型もありますので、この夏、機会をつくってぜひご覧ください。

小林地区 民生児童委員に

平山 久美子さんを委嘱



▲委嘱状を受け取る平山久美子さん

小林地区の民生児童委員に平山久美子さんが厚生労働省、福島県から7月9日に委嘱された事により、7月22日に町長室で委嘱状交付式が行われました。

民生児童委員は、町内各地区にそれぞれ担当委員がおり誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、様々な活動や困り事相談などをされていますので、活動へのご理解とご協力をお願いします。

さようなら ありがとう アンナ先生

只見中学校でお別れ会



▲お別れ会で花束を受けとるアンナ先生

平成22年8月から町の英語指導助手を務めたアンナ・ジョージ先生のお別れ会が7月19日に只見中学校で行われました。

アンナ先生はあいさつで「文化の違いから戸惑う事もあったが、皆さんの助けで色々な事を体験出来た。日本に来て幸せだった。」と話されました。

アンナ先生は8月にイギリスで結婚式を行うとの事ですので只見での思い出を胸に幸せになって欲しいと思います。

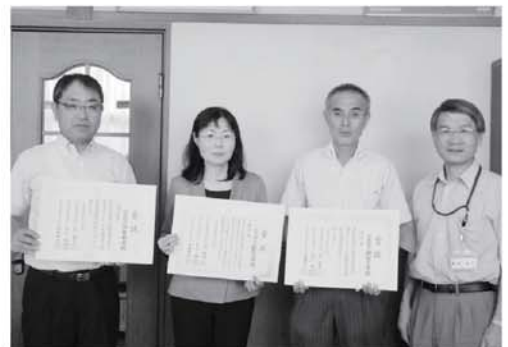
町内小・中学校

福島県学校歯科保健優良校表彰を受賞

平成25年度福島県学校歯科保健優良校表彰において、只見小学校が努力賞、朝日小学校と只見中学校が奨励賞を受賞しました。

この受賞は養護教諭の先生を中心に、各学校での歯科保健推進への取り組みが認められた結果です。

保護者の皆様におかれましては、家庭でも子ども達が歯磨きに取り組むよう指導をお願いします。



▲左から只見中・只見小・朝日小学校長、教育長